

平成 28 年 3 月 10 日
ホクレン農業協同組合連合会

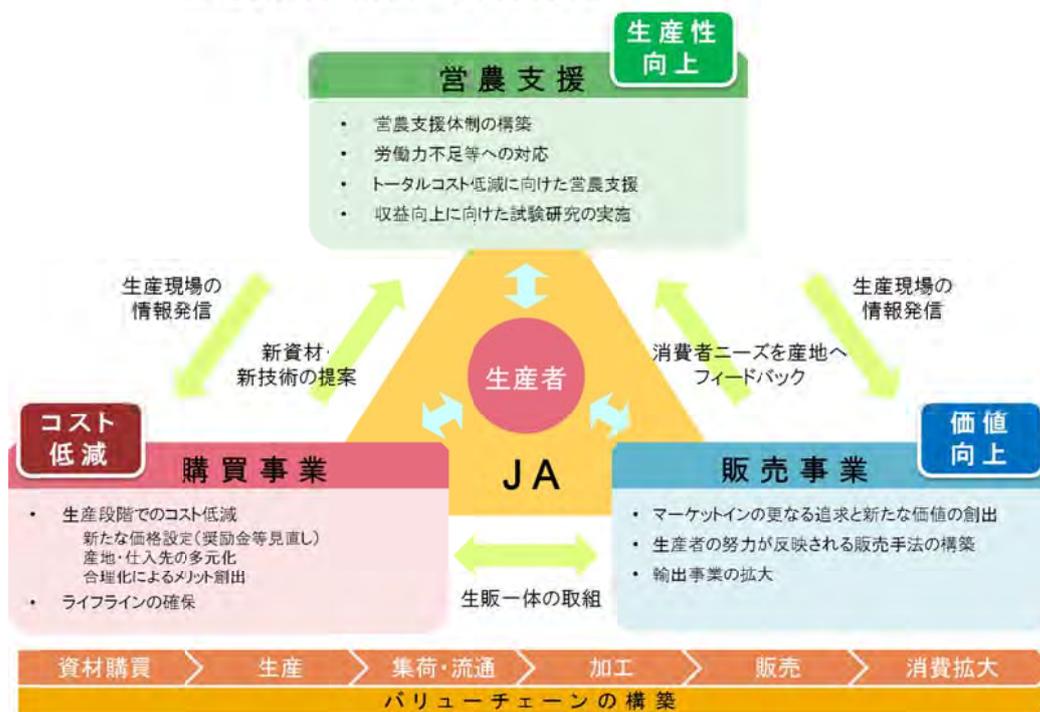
ホクレン事業改革プランについて

1. JAの営農・経済事業を支援・補完するホクレンの事業戦略

ホクレンでは平成 26 年 11 月に「事業改革プラン」を作成し、『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略に設定しました。

特に「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」を重点テーマとし、事業を通じて「農業所得の向上」を目指しております。

【基本戦略】販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営



実践

「農業所得の向上」

2. 販売事業について

(1) マーケットイン（川下ニーズの重視）の更なる追求と新たな価値の創出

消費者ニーズが多様化する中、作れば売れる時代ではなく、ニーズを的確にとらえ、買ってもらえるものを作って売る戦略に転換する必要がある。

ア. 川下ニーズの収集と産地へのフィードバックの強化

- 米穀については、川下ニーズを踏まえた品種別作付体系を整備するなど、産地と消費地の結びつけを強化し、全国需給に左右されにくい販売を目指す
- 園芸については、加工・業務用向け販売を強化すべく、品種の選定や栽培技術を確立するなど、用途別契約取引を推進する（玉ねぎ・トマト・人参など）
- **ホクレンの施設（パールライス工場・野菜センター等）やJAの施設等を活用し、生協・量販店や加工メーカーとの直接取引を強化することで、川下ニーズを的確に産地へフィードバックするとともに、生産・加工・販売に係るバリューチェーンを構築する**
- ホクレンの販売提案に応じて、JAが生産技術等を勘案した生産者・部会を選定し、生産誘導と営農指導を行うよう推進する



パールライス工場



野菜センターCA貯蔵庫

イ. 企業と連携した商品開発とプロモーションの強化

- 健康・美容など機能性を追求した商品や、簡便化志向に対応した商品など、消費者ニーズを踏まえた**商品開発**と市場投入を図る
- タレントを起用したCM展開などにより、北海道農畜産物の全国的な知名度や**ブランド力の向上**を図る



ホクレン開発商品



米のプロモーション展開

